



楽しい明るい嬉しいことが  
いっぱいある、皆が幸せにな  
れる医師会にしたい。



中部地区医師会 会長  
中田 安彦 先生

Q1. 中部地区医師会会長ご就任おめでとうございます。中田会長は、平成10年から14年間にわたり理事、副会長として中部地区医師会活動に携わってこられ、この度医師会長に就任されましたが、これまでの活動を振り返っての感想と今後の抱負をお聞かせください。

金城元会長、安里前会長の下で7期14年間執行部の一員として会務に携わってきましたが、気がつけば会長就任となりました。また地区医師会の中では若輩者ではありますが、会員の皆さんが安心して業務に専念することができ、地域住民の皆さんが満足できる医療を受けることができるゆとりある街造りに貢献できる医師会—地域に貢献できる医師会—を目指していきたいと思っています。

Q2. 貴会では、学校保健事業、予防接種事業等の他に、成人病検診センター並びにぐしかわ看護専門学校、訪問看護ステーションの運営等幅広く事業を展開され、地域住民の医療ニーズにこたえるべくご尽力されておりますが、今特に力を入れて取り組まれる事業がございましたら、お聞かせください。

会員の負担の公平化と班会議の活性化、看護専門学校の経営の安定化、予防接種の公費化の拡充、成人病検診センターの更なる充実、一般

公益法人化と課題は多数ありますが、短期目標としては平成25年4月1日の一般公益法人移行、会員の負担公平化推進、班会議の活性化。中期目標としては看護専門学校の経営の安定化、予防接種の拡充、成人病検診センターの更なる充実、長期目標としては次代の地区医師会執行部の育成、県医師会の屋台骨の1つとして地区医師会の強化があげられると思います。

Q3. 中部地区医師会の会員数が550名と、本会の地区医師会の中で一番の大所帯ですが、舵取り役としてご苦労等はございませんか。

中部地区は沖縄本島中央に位置し、県内で最大の人口をほこる地域でありながら必ずしもゆとりのある地区ではありません。管内には9市町村があり都市部と農村部が混在し、医師の過密地域と医療アクセスの悪い地域が併存しています。保健所も中部・南部とも重なり、また、選挙区も2区・3区と重なり隣接医師会も7医師会（北部、公務員、国療、琉大、浦添、那覇、南部）と複雑な要素を多数かかえています。

さらに大所帯であるゆえに多様な考えの方々も多く、医師会事業も多種にわたっているために会務運営に神経を使っています。しかし、皆様のおかげで現在、会務運営は比較的安定しておりますが、安定化した結果、一部の会員がお客様化していますのでそのような方々を含めて

医師会会員に改めて医師会の原点をともに確認して一緒になって医師会を発展させていきたいと考えています。

**Q4. 県医師会に対するご要望がございましたらお聞かせください。**

現執行部は、医師会のみならず沖縄県全体を考えて活動していると思います。中部地区医師会もそのような県医師会を支えていきたいと考えています。

**Q5. 最後に日頃の健康法、ご趣味、座右の銘等がございましたらお聞かせ下さい。**

毎朝体重を測って過食にならないように

チェックしています。

歴史書を読むこと、家族と映画を観たり旅行すること。

特に座右の銘はありませんが、現在の心境としては

「少年老い易く学成りがたし」

「今日できることは明日に延ばすな。全力を尽くせ」で表せると思います。

この度はインタビューへご回答頂き、誠に有難うございました。

インタビューアー：広報委員 富名腰 義裕

